

# 特別支援教育部会

## 1 研究テーマ

一貫性のある支援を行うための「すくすくシート」の効果的な活用の在り方

- ・「すくすくシート」の有効な活用方法の検討
- ・「すくすくシート」の理解と活用の促進



## 2 研究の取組

### (1) 「すくすくシート」の有効性についての調査研究

- ① 通常の学級における支援の必要な児童生徒への対応の実態把握
- ② 「すくすくシート」の活用の有効性についての調査・協議



### (2) 「すくすくシート」の活用事例研究

#### ① ☆本人、保護者、外部機関と連携して「すくすくシート」を作成・活用した事例

本人の特性や課題等の情報を関係者と共有して目標を設定し、シートを作成して支援を行った。

#### ② ☆保護者と共に一貫した支援を行うために作成・活用した事例

保護者と話し合いを重ね、児童の課題の確認をし、改善に向けて家庭と学校で、同一歩調で支援を行った。

#### ③ ☆通級指導教室での指導をそれぞれの場で生かすために作成・活用した事例

「ことばの教室」での上手くいっている支援を通常の学級や支援機関等に繋げた。

#### ④ ☆業務の効率化を図り支援者の負担軽減につながった「すくすくシート」の活用の事例

話し合いや修正の場を確保するため校内支援委員会で「すくすくシート」の活用をした。

### 【すくすくシートについて】

#### ☆すくすくシート A・・・「個別の教育支援計画」

支援機関一覧の機能があります。支援の全体像が把握できます。

#### ☆すくすくシート B・・・「個別の指導計画」

子どもの実態と指導の目標や手立て、合理的配慮を記入します。

#### ☆すくすくシート C・・・通級指導教室利用児童対象の「個別の教育指導計画」

すくすくシートC

## 3 成果 (○) と課題 (△)

- 外部機関、児童生徒、保護者と一緒にシートを作成し共有することで、本人をはじめ、本人、関係者の理解や協力を得ながら、支援を進められるようになった。
- 学校職員間や利用する学びの場で支援方法の歩み寄りができ適切な支援が行えた。その結果、本人が安心して、学校生活を送ることができる場面が見られてきた。
- 職員間で引き継ぎが実施されることで、クラス替えによる不適応の軽減をすることができた。
- △ 本人、保護者に作成・活用の理解をしてもらい適切な支援ができるようになるまでには、時間を要することもあるため、計画に位置付けて日時の設定をする等の工夫をしていきたい。
- △ 他教員と連携を図ったり、定期的にケース会議を開いたり、外部機関と話し合ったりする等、特別支援教育コーディネーターのリーダーシップが必要となる。